

平成25年度 文部科学省指定

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」
における学力定着に課題を抱える学校の
重点的・包括的支援に関する調査研究

高知県高岡郡梶原町立梶原中学校

本日の流れ

1. 梶原学園の概要
2. 小・中学校9年間の
系統的な学び
3. 学習指導法の改善
4. 成果と課題



1. 梶原学園の概要



1. 栲原学園の概要



龍馬脱藩の地



1. 栲原学園の概要

1年・7年合同入学式



1～9年縦割り班そうじ



小中一貫教育校 「栲原学園」

全校給食



運動会 異学年交流競技



1. 栲原学園の概要

学校教育目標

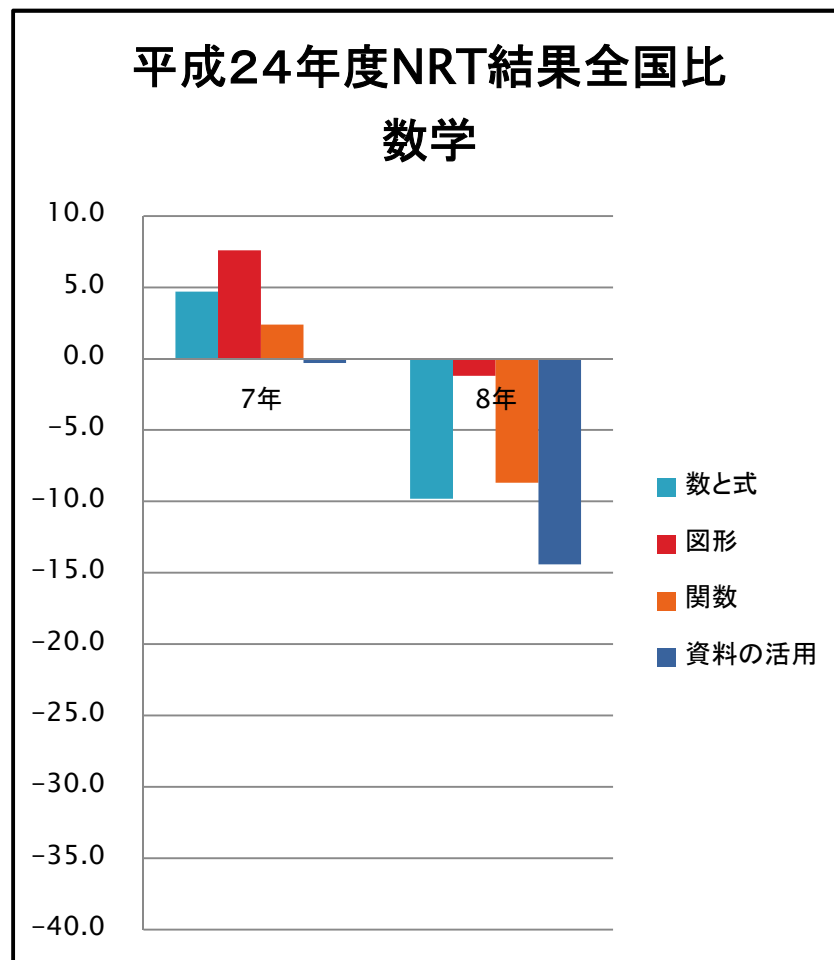
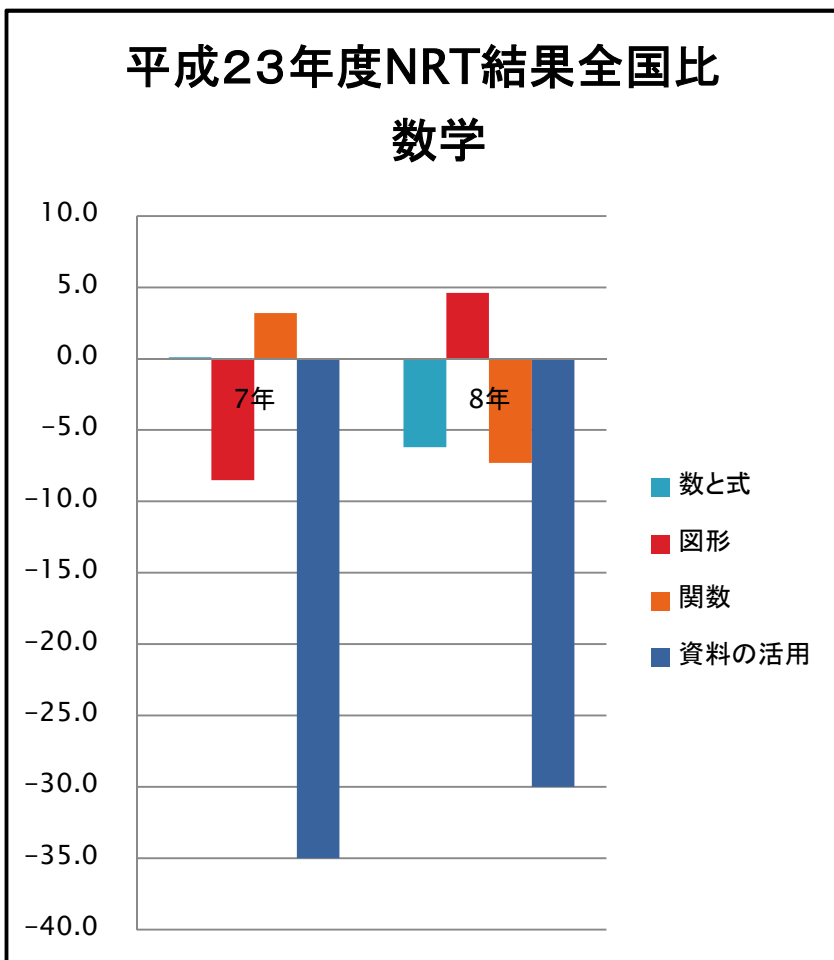
**「豊かな人間性と生きる力を
もった児童・生徒の育成」**

**～知・徳・体・食のバランスの
とれた教育の推進～**



1. 栲原学園の概要

学力の現状 数学(7年生～8年生)



1. 梶原学園の概要

研究主題

**「基礎学力の定着と学力の向上を
めざした学習指導法の改善」**

**一言語活動の充実を通して互いに学び合う
児童生徒の育成を目指す**



2. 9年間の系統的な学び

9年間の系統的な学びの取組

- ①授業規律の統一
- ②自立ノートの活用
- ③学力向上マップと個人カルテの活用
- ④小学生への教科担任制の推進
- ⑤視写活動

2. 9年間の系統的な学び

① 学習規律の統一



1～9年生まで
内容を統一

学習ルール

1. 整理整頓 7～9年
2. 学習準備
3. 50分スタート
4. すばやい取りかかり
5. 集中して聴き、反応
6. 手遊び・私語なし
7. 挙手はまっすぐ
8. はっきりした声で返事
9. 必要な大きさの声で発表
10. 良い姿勢

認め合い、学び合う授業づくり

2. 9年間の系統的な学び

② 自立ノートを活用

時間割・内容

家庭学習の内容と時間

持ち物

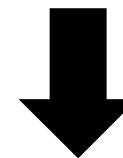
生活チェック

一日のふり返り

サイン

目的

- ① 家庭学習の習慣化
- ② 基本的な生活習慣の確立のための生活チェック
- ③ 1日のふりかえりを文章で
- ④ 児童生徒・保護者・担任
3者間のコミュニケーション



自立した児童生徒の育成

呉市立警固屋学園を参考に

2. 9年間の系統的な学び

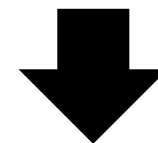
② 自立ノートの活用



表紙の色の変更基準

- ① すべて記入ができています
- ② 各学年の家庭学習
目標時間に到達している
- ③ 忘れ物がない

①～③が1ヶ月毎日できていて
「自立」とする



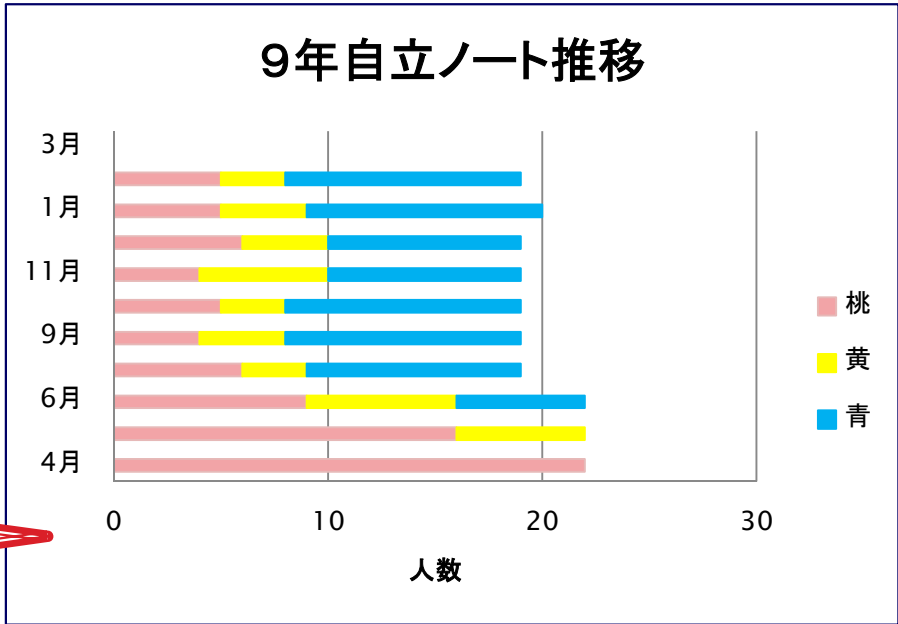
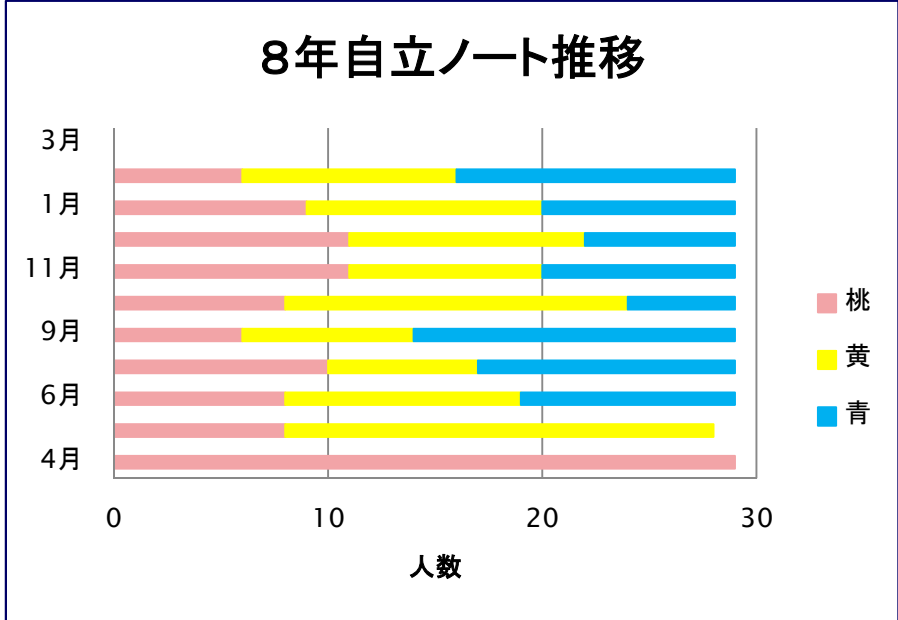
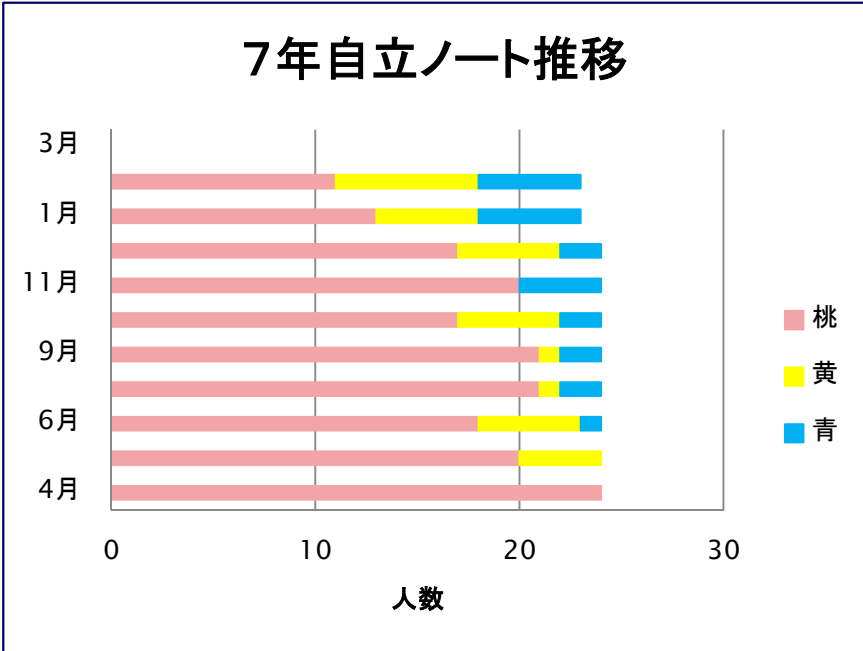
ピンク → 黄 → 青

呉市立警固屋学園を参考に

2. 9年間の系統的な学び

② 自立ノートを活用

自立ノート推移表



家庭の協力が必要

2. 9年間の系統的な学び

② 自立ノートの活用

家庭学習目標時間：**学年の数字×10**

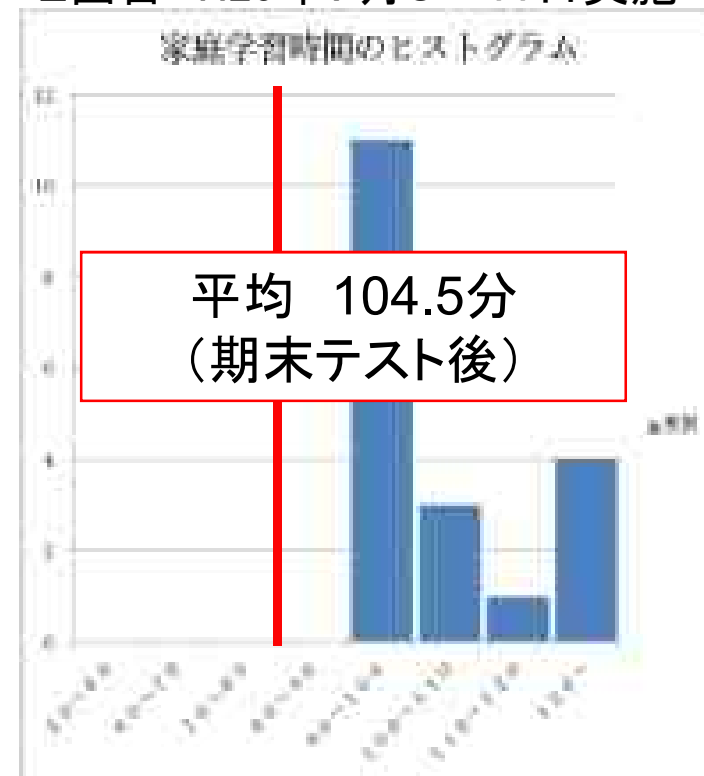
7年生70分、8年生80分、9年生90分

9年生家庭学習時間調査結果

1回目 H25年5月22～23日実施



2回目 H25年7月9～11日実施



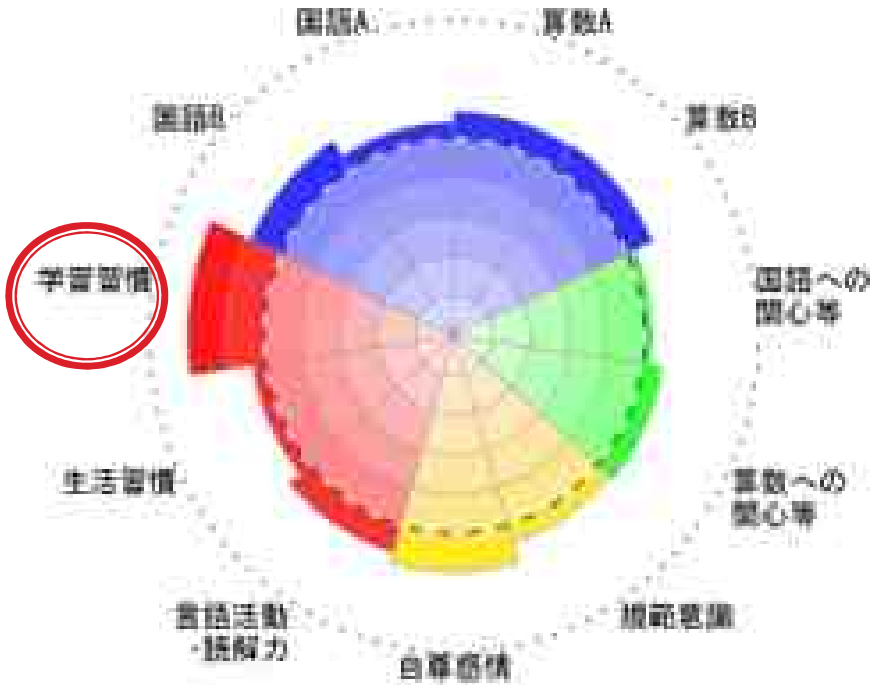
2. 9年間の系統的な学び

② 自立ノートの活用

H25年度 全国学力・学習状況調査の結果より

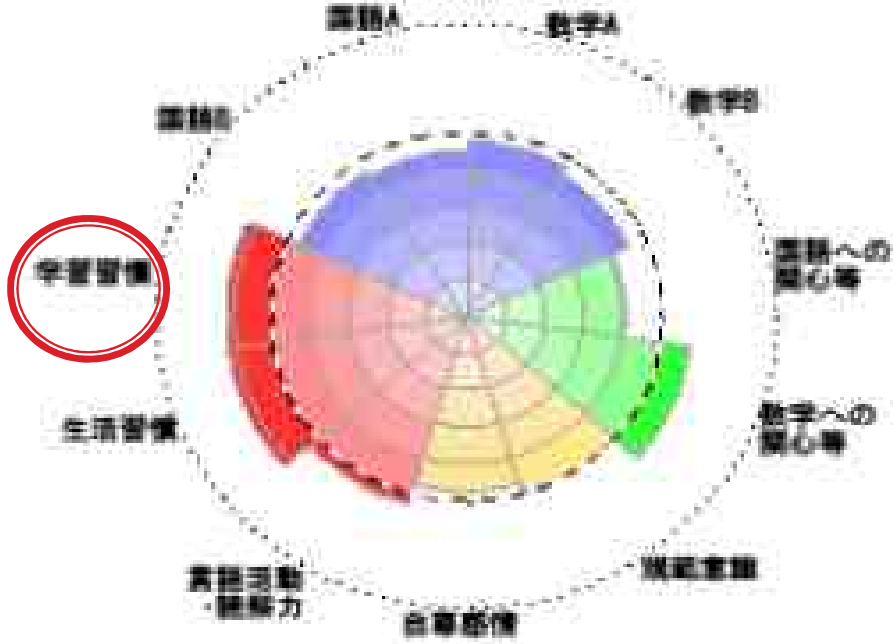
小学生

児童質問紙 (全国基準)



中学生

生徒質問紙 (全国基準)



2. 9年間の系統的な学び

③ 学力向上マップと個人カルテの活用

	数と計算・式			数量関係・図形			量と測定・図形		
	第1	第2	第3	第1	第2	第3	第1	第2	第3
めざすもの	○数学的な表現や処理の仕方を習得し、それらを活用したりしようとしている。			○数量関係や資料の傾向を数学的な表現や処理によってとらえて活用しようとしている。			○図形の基本的な性質を習得し、それらを活用して考えたり判断したりしようとしている。		
第1学年	○2位数までの数を表すことができる	1	1) 1)2)	○加法・減法の場面を式に表したり、式を読み取ったりできる	4	25) 1)2)	○長さ、面積、体積の直接比較ができる	11	2) 1)4)
	○2位数までの簡単な加法及び減法ができる	1	7) 1)~8)	○既習事項を活用できる	4	24) 26)	○三角、丸、四角の形をみつけることができる	3	20)
	○既習事項を活用できる	1	8) 10)				○既習事項を活用できる	2	16) 1)2)
第2学年	○4位数までの数を表すことができる	1	1) 1)2)	○乗法の場面を式に表したり、式を読み取ったりできる	4	28)	○cm, mm, ml, dlを使って、量の測定ができる	2	13) 3) 16) 1)2)
	○九九が言える	1	8) 1)~4)	○簡単な表やグラフをよみとることができる	4	25)	○三角形、四角形、長方形、直角三角形の意味や性質が分かる	3	22) 1)2) 3)
	○3位数までの簡単な加法及び減法ができる	1	7) 1)~6)	○既習事項を活用できる	4	29)	○既習事項を活用できる	3	24)

第7学年	○正の数、負の数の四則計算ができる	1	1) 2)	○比例、反比例を表・式・グラフで表すことができる	3	22, 23 24)	○角の二等分線、垂直二等分線、垂直などの作図ができる	2	9	1) 2)
	○既習事項を活用できる	1	3) 4) 5)	○資料をヒストグラムで表し、代表値が求められる	4	31)	○扇形の弧の長さや面積、柱体や錐体や球の表面積と体積が求められる	2	16 17)	
	○既習事項を活用できる	6	1) 2) 3)	○既習事項を活用できる	3	25 30 31)	○既習事項を活用できる	2	18)	
	○既習事項を活用できる	4 7 8)	1) 2) 1) 2) 1) 2)							
第8学年	○2元2次以上の文字を含んだ文字式の計算ができる	1	1) 2) 3) 4)	○1次関数を表・式・グラフで表すことができる	3 3)	19 20)	○平行線や三角形の角を利用して多角形の角を求めることができる	2	10)	
	○連立方程式が解ける	1	7) 1) 2)	○簡単な場合について確率が求められる	4	25 26 27)	○三角形の合同条件等を利用して図形の性質が証明できる	2	13 14)	1) 2) 1) 2) 3) 4)
	○既習事項を活用できる	1	8 9)	○既習事項を活用できる	3 4	22 23, 24 27, 28 29)	○既習事項を活用できる	2	11)	
第9学年	○平方根の計算ができる			○2乗に比例する関数を表・式・グラフで表すことができる			○三角形の相似や平行線の性質を利用して、線分の長さを求めることができる			
	○展開・因数分解ができる			○既習事項を活用できる			○円周角と中心角の関係を利用して角の大きさを求めることができる			
	○2次方程式が解ける						○三平方の定理を利用できる			
	○既習事項を活用できる						○既習事項を活用			

加力指導の内容に



第8学年	○2元2次以上の文字を含んだ文字式の計算ができる	1	1) 2) 3) 4)	○1次関数を表・式・グラフで表すことができる	3 3)	19 20) 1) 2) 3)	○平行線や三角形の角を利用して多角形の角を求めることができる	2	10)	
	○連立方程式が解ける	1	7) 1) 2)	○簡単な場合について確率が求められる	4	25 26 27)	○三角形の合同条件等を利用して図形の性質が証明できる	2	13 14)	1) 2) 1) 2) 3) 4)
	○既習事項を活用できる	1	8 9)	○既習事項を活用できる	3 4	22 23, 24 27, 28 29)	○既習事項を活用できる	2	11)	
第9学年	○平方根の計算ができる			○2乗に比例する関数を表・式・グラフで表すことができる			○三角形の相似や平行線の性質を利用して、線分の長さを求めることができる			
	○展開・因数分解ができる			○既習事項を活用できる			○円周角と中心角の関係を利用して角の大きさを求めることができる			
	○2次方程式が解ける						○三平方の定理を利用できる			
	○既習事項を活用できる						○既習事項を活用			

2. 9年間の系統的な学び

③学力向上マップと個人カルテの活用

学力向上マップ
全国学力・学習状況調査
NRT
CRT

個人カルテ

9年間
引き継ぐ

個人の定着度の確認

2. 9年間の系統的な学び

③学力向上マップと個人カルテの活用

学力向上マップで見える課題・学力検査等の結果



分析・手立て



全教職員で情報共有

講師は大学生



加力指導



チャレンジタイム
(週1回 30分:英・数)



チャレンジ塾
(長期休業中:5教科)

2. 9年間の系統的な学び

④教科担任制の推進

学年	平成23年度	平成24年度	平成25年度
3年	理科	理科・算数	算数
4年	理科	理科・算数	算数
5年	体育・ 家庭科	算数・国語・ 家庭科	算数・国語 家庭科
6年	算数・ 体育	算数・音楽 家庭科	算数・音楽 家庭科

黒字：小学校内の教科担任制

赤字：中学校教科担当による乗り入れ

2. 9年間の系統的な学び

④教科担任制の推進

児童生徒のメリット（一部教科担任制アンケートより）

- ・中学校の先生やスピード、やり方に慣れることができる。
- ・中学生に教えている専門的なことも教えてもらえる。
- ・中学生になる心構えができる。
- ・中学生になってすぐの時も気軽に質問できた。

教員のメリット（一部教科担任制アンケートより）

- ・中学校の内容を理解するためには、小学校でどのような力をどのように付けなければいけないかがわかる。
- ・中学生になったばかりの生徒も名前で呼ぶことができる。
- ・4月の授業がスムーズにスタートできる。
- ・児童の特性を知ることができ授業以外での支援にもつながる。

2. 9年間の系統的な学び

⑤ 視写活動



毎週1回朝の活動時間に実施

1～5年生 国語の教科書の本文

6～7年生 高知新聞 小社会

8～9年生 朝日新聞 天声人語

意見・感想

語句調べ

3. 学習指導法の改善

研究主題

「基礎学力の定着と学力の向上をめざした
学習指導法の改善」

— 言語活動の充実を通して互いに学び合う児童生徒の育成を目指す —

学習指導法の改善のための取組

- ① 研究授業の実施
 - ・ 指導と評価の一体化
 - ・ 研究協議の進め方
- ② 言語活動の充実

3. 学習指導法の改善

① 研究授業

全教員が1年に1回以上実施



研修会の形態	実施回数 (H25年度)
全校研修会	6回
前期(1~4年) ブロック研修会	5回
中期(5~7年) ブロック研修会	5回
後期(8・9年) ブロック研修会	5回

3. 学習指導法の改善

① 研究授業

目的

- 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- 各教科の評価規準の見直しと
客観的な評価の位置づけ
- 指導と評価の一体化

3. 学習指導法の改善

① 研究授業：指導と評価の一体化

付けたい力の明確化



児童生徒の実態に合わせた
評価規準の設定

A: 十分満足できる状況

B: 概ね満足できる状況

C: 支援が必要な児童生徒への手立て

小中統一された学習指導案に明記

3. 学習指導法の改善

① 研究授業：指導と評価の一体化

研究授業前に周知すること

① 教員のグループ分け



担当の児童生徒だけを重点的に見取る

② C評価と予想される児童生徒



B評価に引き上げるための手立てを見取る

3. 学習指導法の改善

① 研究授業：指導と評価の一体化



授業者の手立てを見取る



発言の内容を見取る

書いた内容を見取る



3. 学習指導法の改善

① 研究授業：指導と評価の一体化



3. 学習指導法の改善

①研究授業：研究協議の進め方

小学校・中学校の校種や教科の違いを超えて、**視点**を絞った協議を行う

- ①授業の**ねらい**は明確であったか
- ②**評価規準**は適切であったか
- ③狙った力が付く**授業展開**であったか
- ④**言語活動**を通して学び合う場面

3. 学習指導法の改善

① 研究授業：研究協議の進め方

個人の評価の見取り



活動を通して
理解が深まった



話し合いにより考え方に
変化が見られた



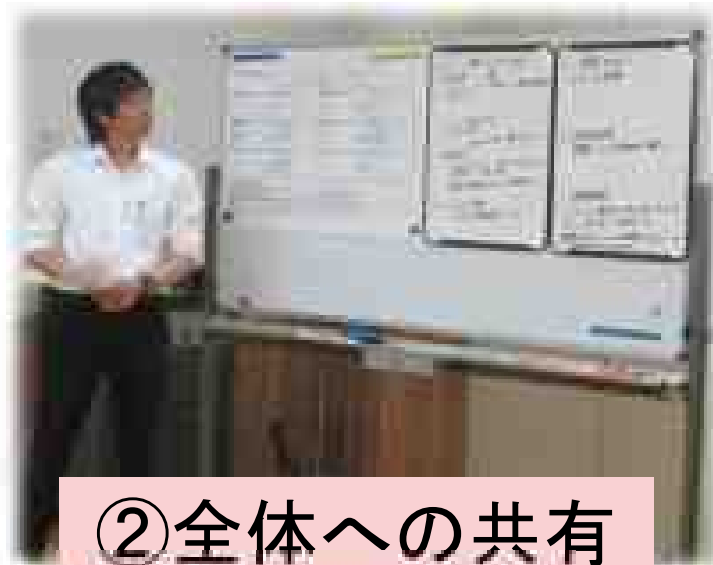
教え合いによりC評価
からB評価になった

3. 学習指導法の改善

① 研究授業：研究協議の進め方



①グループ協議



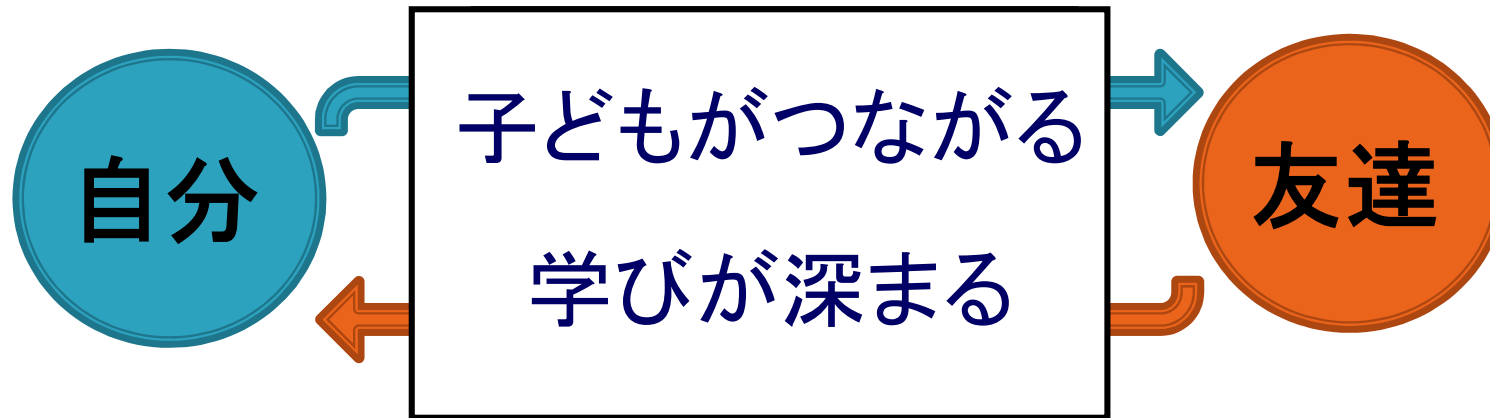
②全体への共有



③講師の助言

3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実



学びを深めるための言語活動の充実

梶原学園が目指す学び合い

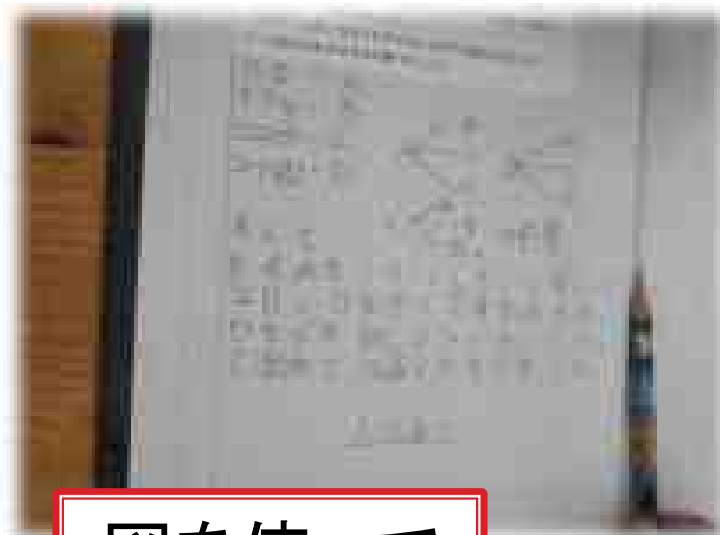
- ① 自力解決ができている児童生徒が、できていない児童生徒に教えることで共に理解を深め合う
- ② 自分の意見と友達の意見を聞き比べて、新しい考えを獲得している

3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実

自分の意見を言語化（書く）
する場面の設定

個人思考



図を使って
自力解決

3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実

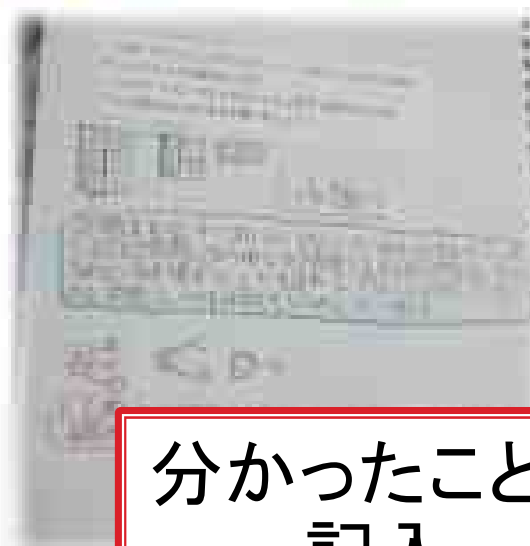
友達と意見を交流する・
教え合う(話す)場面の設定



班活動



ペア活動



分かったことを
記入

3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実

自分の言葉で説明
する場面の設定



黒板に書き足しながら

自分の言葉でまとめて

3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実

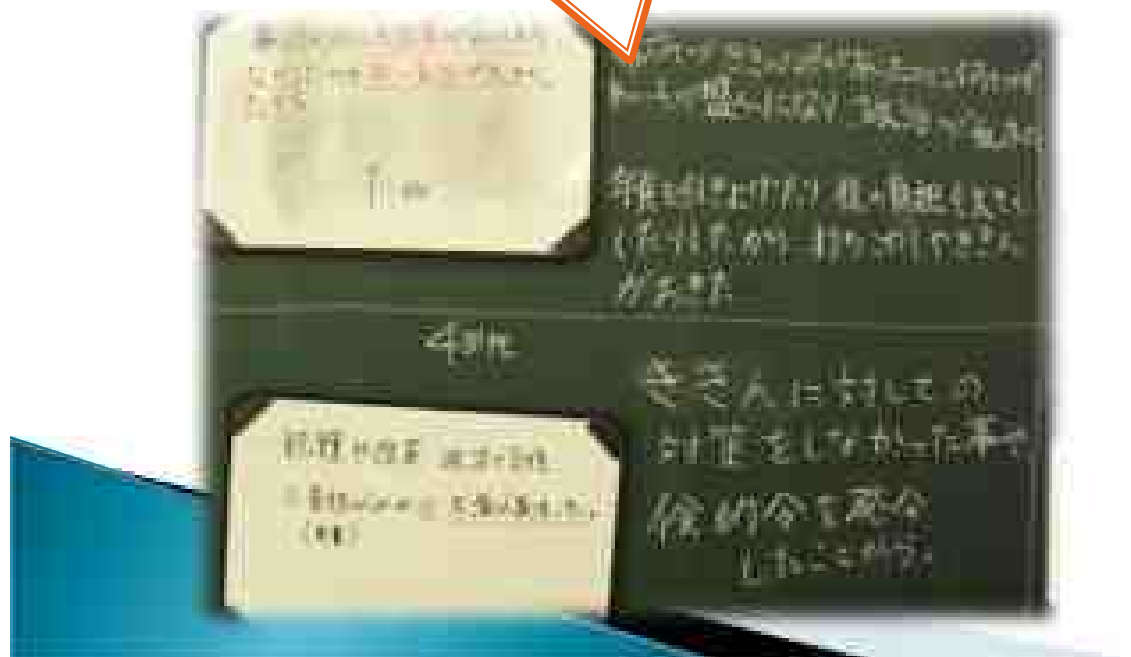
学習語彙を
定着させる

学習語彙を使ってまとめる

L字型ノート

学習語彙・公式

分かったこと



3. 学習指導法の改善

② 言語活動の充実

学び合いの授業について、いいと思うこと

(授業アンケートの結果より)

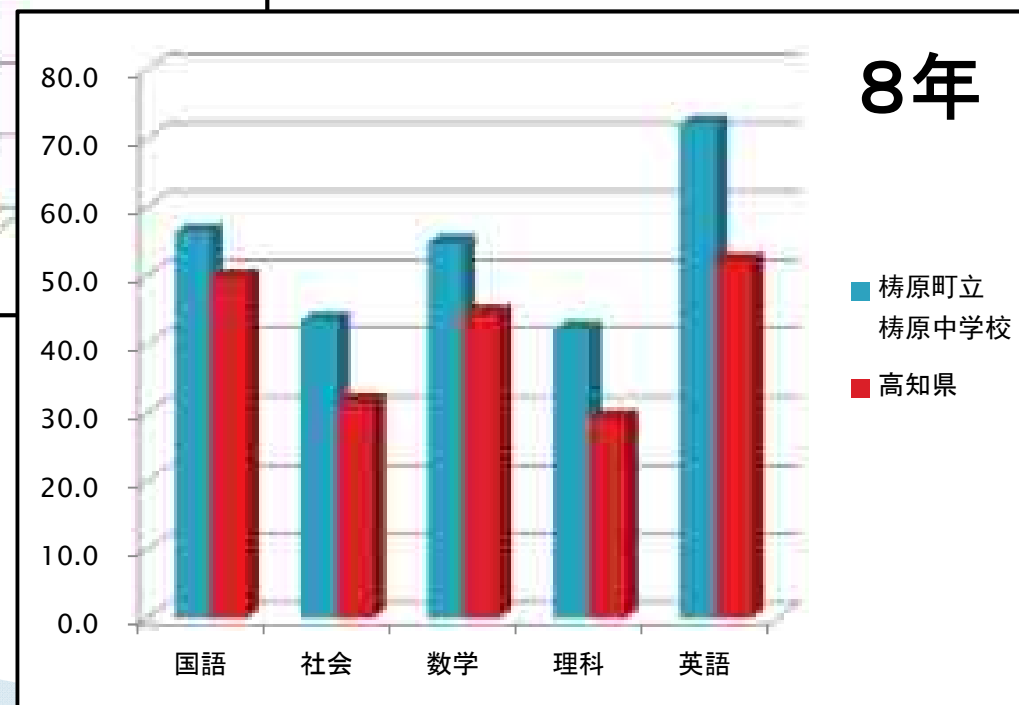
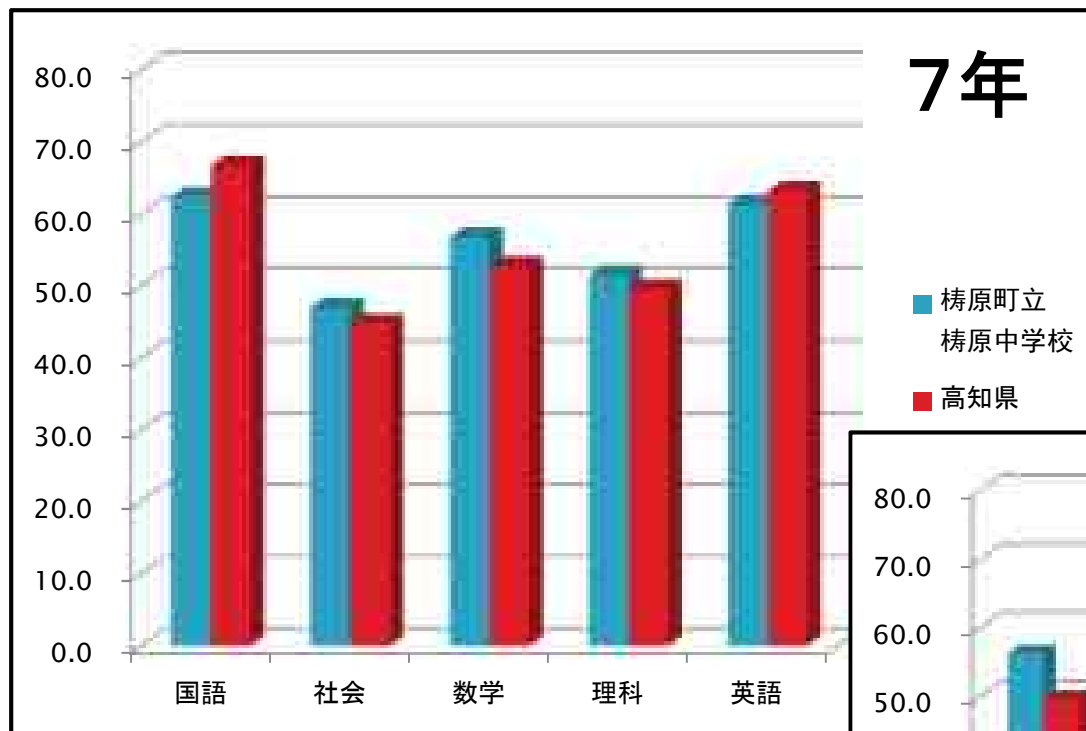
- ・聞くだけ、書くだけよりも班の人と交流できる。
- ・他の人の意見と自分の意見を比べられる。
- ・いろいろな人の意見を聞ける。
- ・自分の考えを聞いてもらえる。
- ・自分が間違っているとしても他の人が助けてくれる。



学ぶ楽しさを実感する授業

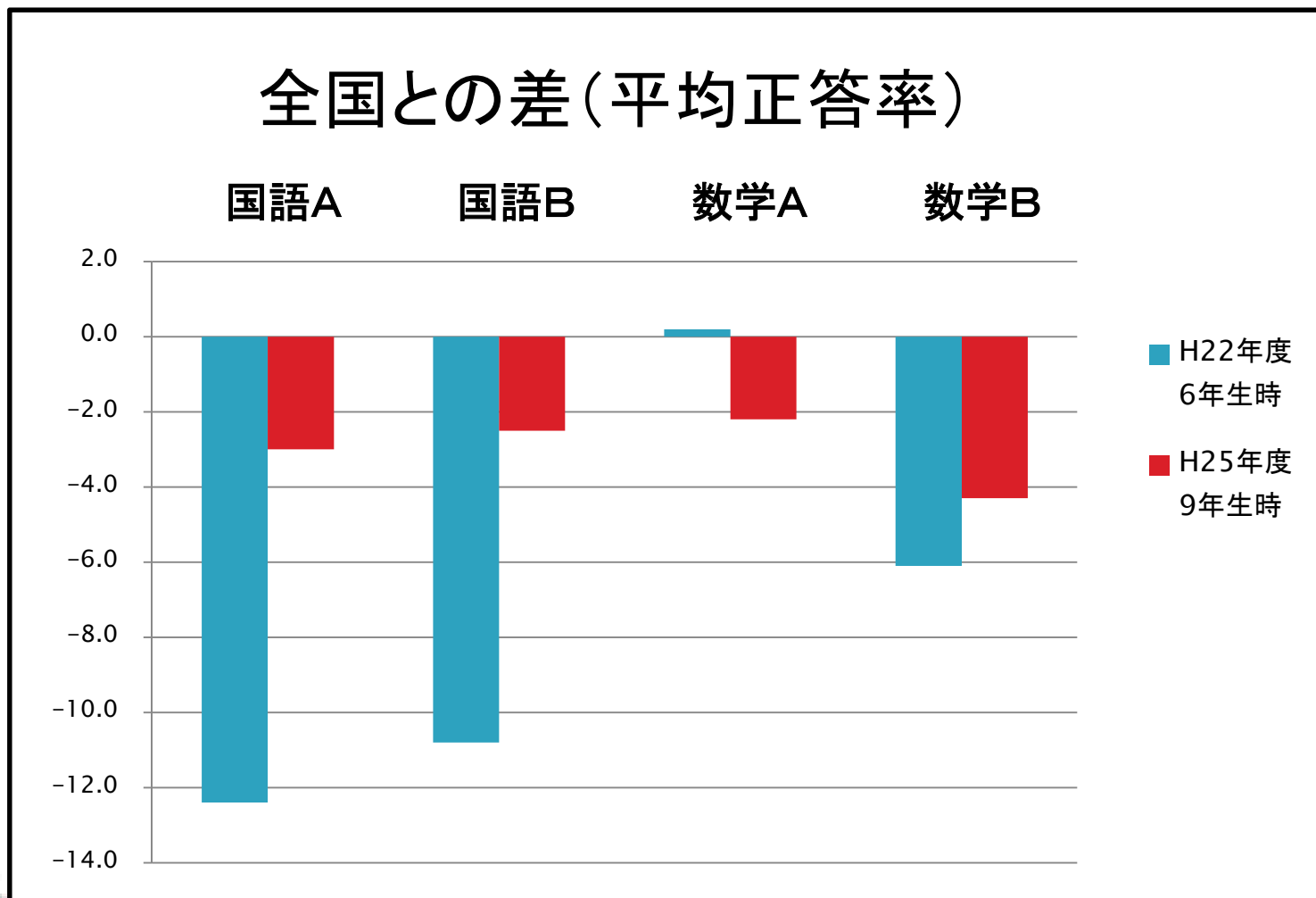
4. 成果と課題

平成25年度 高知県学力定着状況調査結果(平均正答率)



4. 成果と課題

全国学力・学習状況調査結果(平成22年度・25年度の比較)



4. 成果と課題

成果

生徒の変容

- ①家庭学習習慣の定着
- ②基礎学力が向上しつつある
- ③英検・漢検・数検に自主的・意欲的に挑戦

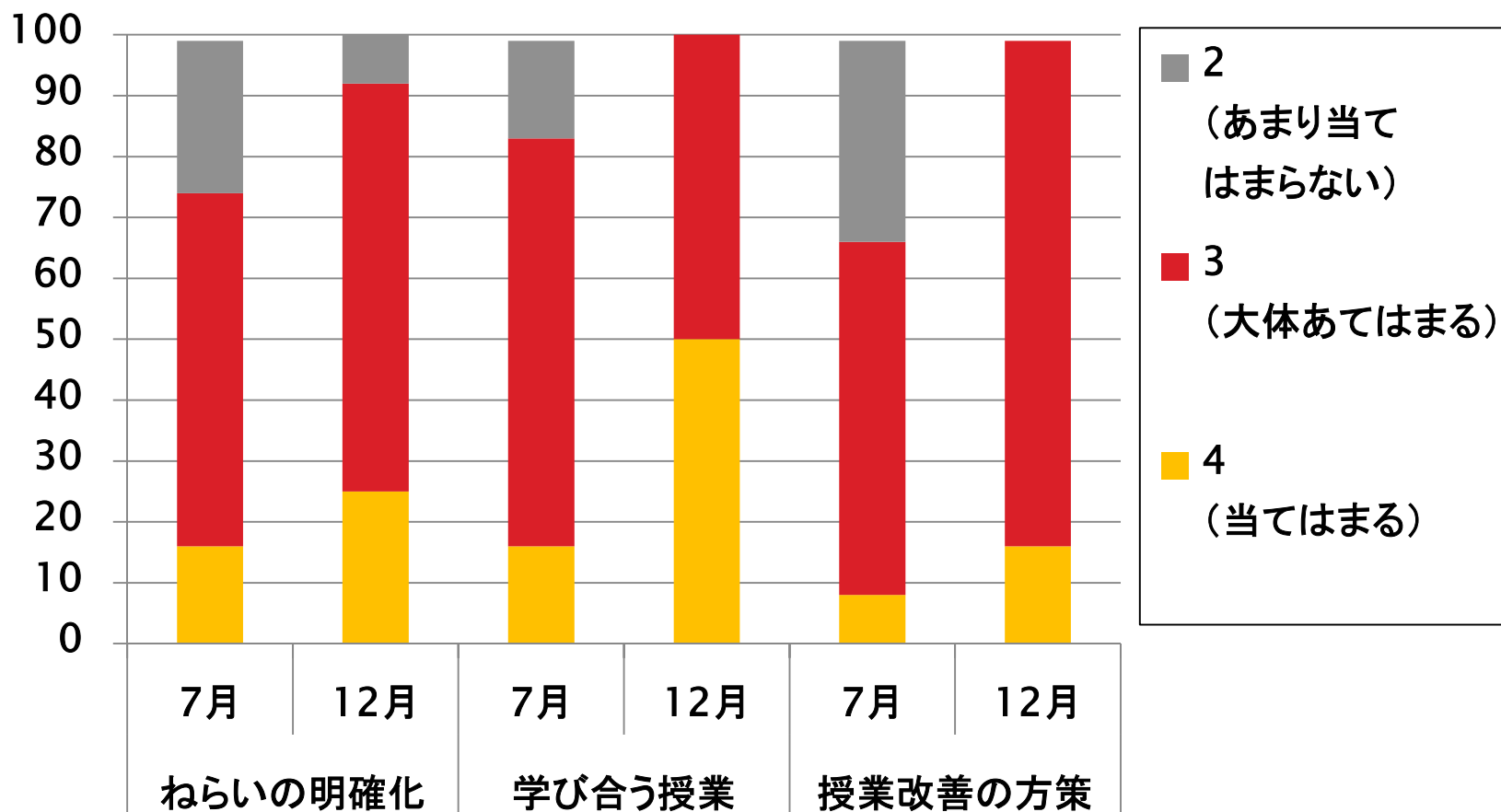
教員の変容

- ①小中全教員での各学力検査結果の活用
- ②学力向上マップの活用
- ③授業改善への意識向上

4. 成果と課題

成果

授業力チェックシート(教師用)の分析結果



4. 成果と課題

課題

生徒の課題

- ①書く・話すなどの表現力
- ②自主的に学習に取り組む意欲
- ③体力不足・低下
- ④自己肯定感が低い

教員の課題

- ①評価規準の研究(めあて—指導—評価)
- ②授業規律のさらなる徹底
- ③領域の指導にも力を入れる

ありがとうございました



栲原学園教職員一同